

平成 22 年 4 月 6 日現在

研究種目：基盤研究(C)
研究期間：2007～2010
課題番号：19530194
研究課題名(和文) プロジェクト・レベルのデータを用いた開発援助の評価に関する研究

研究課題名(英文) Evaluation of Development Aid: Evidence from Project-level Data

研究代表者

春日 秀文 (KASUGA HIDEFUMI)

関西大学・経済学部・教授

研究者番号：40310031

研究代表者の専門分野：社会科学
科研費の分科・細目：経済学・応用経済学
キーワード：国際経済学・開発経済学

1. 研究計画の概要

(1) 先進国から発展途上国への援助フローに関するプロジェクト・レベルのデータを整理し、国別配分および分野別配分を調査する。

(2) 援助とその成果を分析するための理論モデルを開発し、望ましい援助の国別配分および分野別配分を導出する。

(3) 援助のデータから得られた現実の配分やドナーの援助政策について、理論モデルに基づいて評価する。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成 19 年度は、援助プロジェクトのデータを収集し、分野ごとに集計した後、各分野において援助が必要度に応じて行われているかどうかという点から評価した。具体的には、ミレニアム開発目標と関連が深い分野を中心に、その分野の必要度を表す指標を開発し、その指標と援助の被援助国間配分が相関しているかどうかを計量経済学的手法を用いて推定した。食糧援助、HIV/AIDS 対策、感染症対策などの分野で過半数のドナーが分野別の指標で測った援助の必要性が高い国を選択的に援助していることが明らかとなった。

(2) 平成 20 年度においては前年度に集計した分野別データを用いて、分野間の配分がその国の優先順位と一致しているかを調査した。得られた結論は、前年度に行った分野別の被援助国間配分の結果と異なり、分野間配分については効率的に行われているという証拠はほとんど得られなかった。また、汚職

および政府の質の指標が下位 10%の被援助国において、援助が必要な分野でより少なく、不必要な分野でより多く配分されているという結果が得られた。

(3) 平成 21 年度は前年度までに行ったデータ分析の結果に理論的な根拠を与えるためのモデルの開発に取り組んだ。具体的には、公共資本を考慮した内生的成長モデルに援助を導入することで、成長を促すインフラ投資と成長にはつながらないが絶対的貧困ライン以下の国民が存在する場合に必要となる貧困層支援の望ましい配分について理論的に分析した。モデルからは、援助の有効性は成長率に大きく依存するため、必ずしもインフラ投資の規模に応じて援助の有効性が高まるとは限らないことが明らかとなった。また、政府の効率性が高いほど援助の有効性は高まるが、その効果は必ずしも大きくないこと、および現実の援助ではインフラへの配分が極端に少なく非効率になっていることが明らかとなった。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

データの収集および理論モデルの開発については順調に進展しているが、国内・海外での研究報告など研究成果の発表についてはやや回数が少なかった。

4. 今後の研究の推進方策

引き続き理論モデルの開発を進め、これまでの成果については国内・海外での研究成果報告および論文の投稿を進める。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計5件)

- ① 春日秀文, 森田雄一, Aid Effectiveness, Governance and Public Investment, 日本国際経済学会関西支部研究会, 2010年03月27日, 大阪産業大学梅田サテライト教室
- ② Hidefumi Kasuga, Aid Allocation across Sectors: Does aid fit well with recipients' development priorities?, EAEA 11th International Convention of the East Asian Economic Association, 2008年11月16日, Manila
- ③ Hidefumi Kasuga, Aid Allocation across Sectors: Does aid fit well with recipients' development priorities?, RIETI International Workshop: Aid and Economic Development, 2008年9月19日, 経済産業研究所
- ④ Hidefumi Kasuga, The Millennium Development Goals and Aid Allocation: Which donors give high-quality aid?, 日本経済学会秋季大会, 2007年9月23日, 日本大学
- ⑤ Hidefumi Kasuga, The Millennium Development Goals and Aid Allocation: Which donors give high-quality aid?, RIETI

International Workshop on Economics of Foreign Aid, 2007年7月2日, 経済産業研究所

[その他]

- ① Hidefumi Kasuga, "Aid Effectiveness, Governance and Public Investment" RIETI ディスカッション・ペーパー, 09-E-055, 2009年11月
<http://www.rieti.go.jp/publications/summary/09110001.html>
- ② Hidefumi Kasuga, "Aid Allocation across Sectors: Does aid fit well with recipients' development priorities?" RIETI ディスカッション・ペーパー, 08-E-039, 2008年11月
<http://www.rieti.go.jp/en/publications/summary/08100013.html>
- ③ Hidefumi Kasuga, "The Millennium Development Goals and Aid Allocation: Which donors give high-quality aid?" RIETI ディスカッション・ペーパー, 07-E-050, 2007年08月
<http://www.rieti.go.jp/en/publications/summary/07080007.html>
- ④ 春日秀文, 「ミレニアム開発目標と援助配分: 質の高い援助を行っているのはどの供与国か?」 RIETI ディスカッション・ペーパー, 07-J-030, 2007年07月
<http://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/07070004.html>